

(様式下第2号)

# 路線別完工総括調書

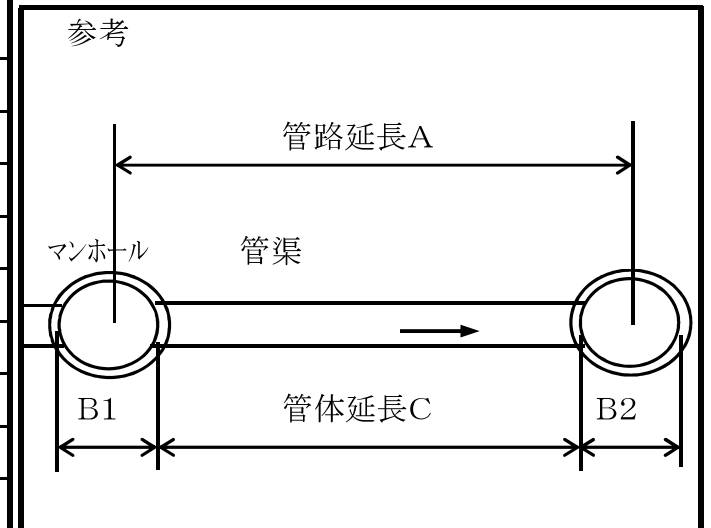
現場確認	調書確認

路線名、路線名がない場合は管路番号を記載。

路線名	〇〇号汚水準幹線		施工年度	平成〇〇 (〇〇〇〇)	年度					
着工及び 完工 年月日	管路延長	管体延長		マンホール			汚水ます			
平成〇〇年〇月〇〇日	119.65 m	200m/m		内径30cm	内径90×60cm	内径90cm		内径20cm		
)		117.70 m		1個	1個	1個		9個		
平成〇〇年〇月〇〇日		合計 117.70 m		合計 3個			合計 9個			
(他に取付管のみ 3箇所)										

\*汚水ますを設置した所のみカウントすること

管路番号	測点	管路延長 A	管体延長		管径 m/m	管種 H・V	その他
			$B=(B_1+B_2)/2$	$C=A-B$			
6231	( M.0 ~ M.1 )	( 34.00 )	( 0.90 )	( 33.10 )	( 200 )	( V )	
6231	M.0 ~ M.1	29.00	0.45	28.55	200	V	
6229	M.1 ~ M.2	27.53	0.90	26.63	200	V	
6227	M.2 ~ M.3	63.12	0.60	62.52	200	V	改良土
	合計	119.65	1.95	117.70			



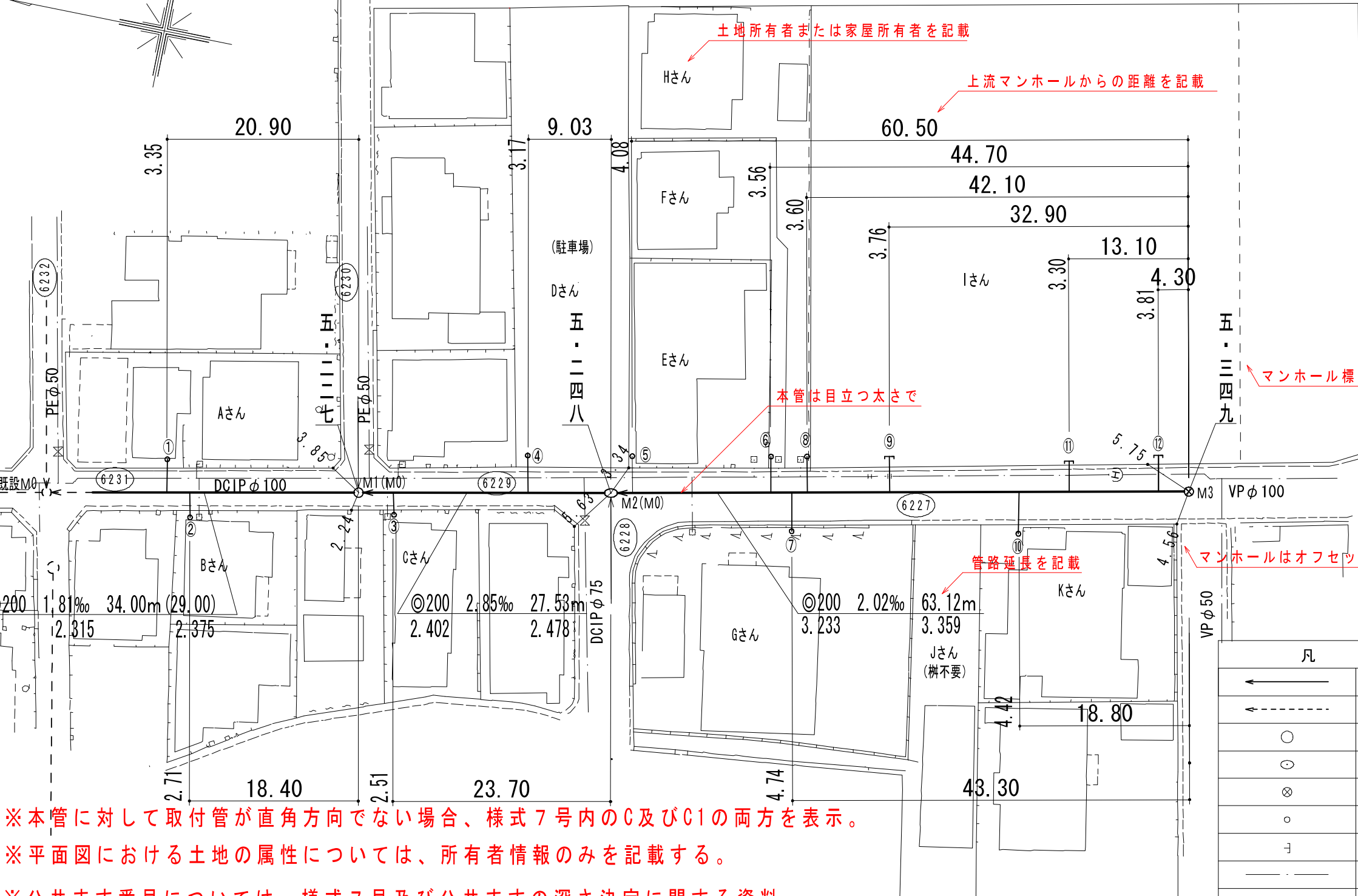
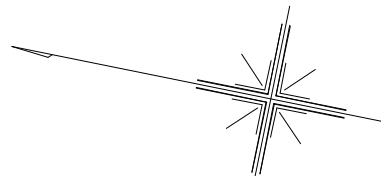
請負者	〇〇〇〇 株式会社	社印
調書作成者	〇〇 〇〇	担当印

\*路線別に作成すること。

# 完工平面図

(1/500)

(〇〇〇号汚水準幹線)



※本管に対して取付管が直角方向でない場合、様式7号内のC及びC1の両方を表示。

※平面図における土地の属性については、所有者情報のみを記載する。

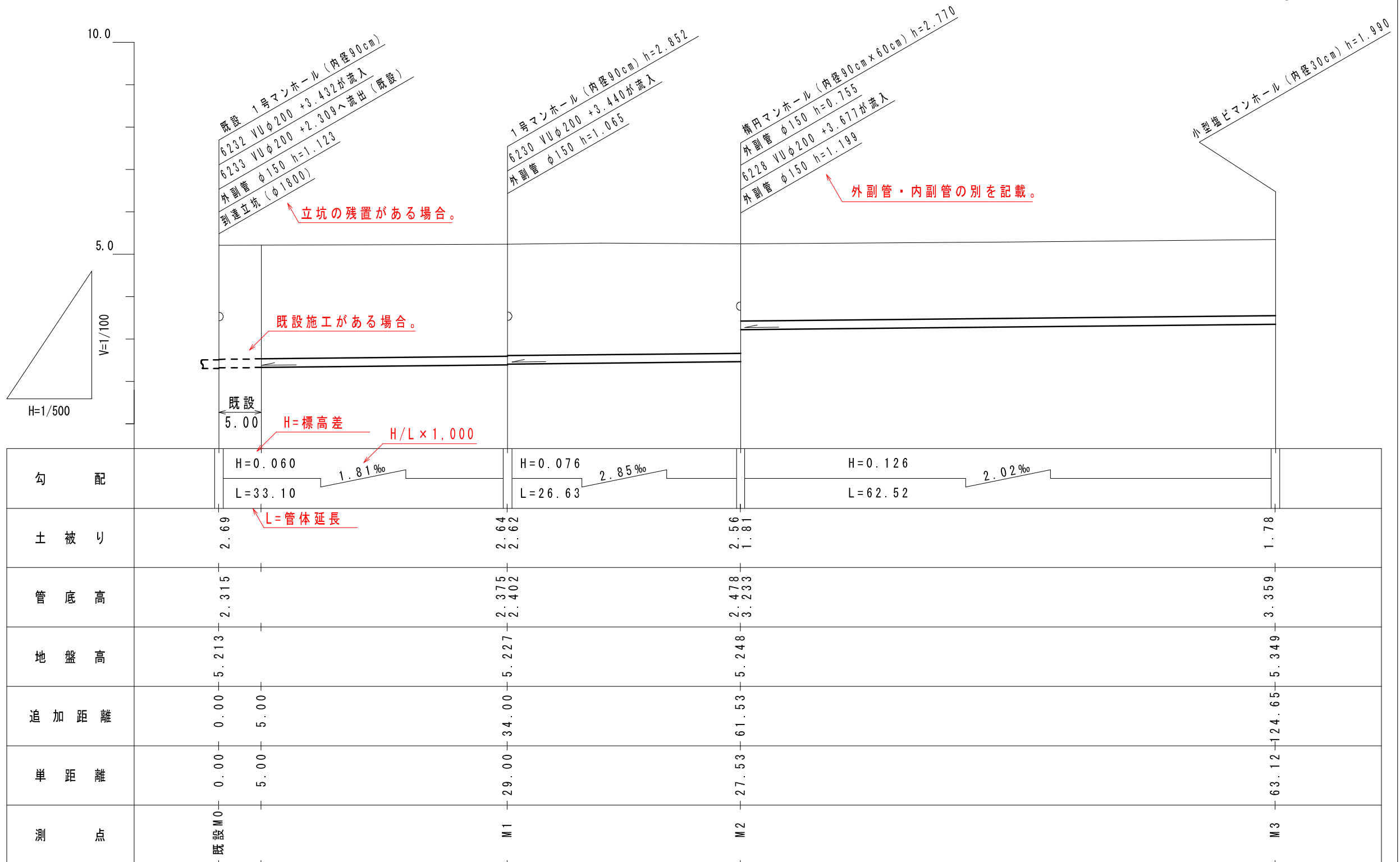
※公共ます番号については、様式7号及び公共ますの深さ決定に関する資料、排水可能区域図、公共ます設置承諾書と同じ番号とすること。

※白黒印刷で提出する。

凡	例
←	汚水実施管
←---	汚水既設管
○	1号マンホール
⊙	楕円マンホール
⊗	塩ビマンホール
○	公共樹
⊕	キャップ止
—	水道管
.....	NTTケーブル

# 完工縦断面図

(〇〇〇号汚水準幹線)  
M1 ~ M3

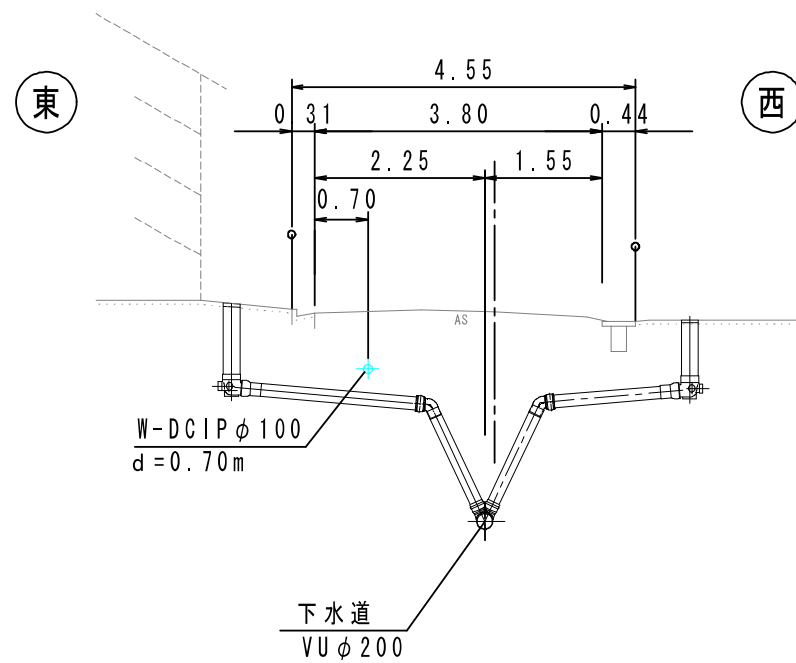


※白黒印刷で提出する。

# 完工標準断面図

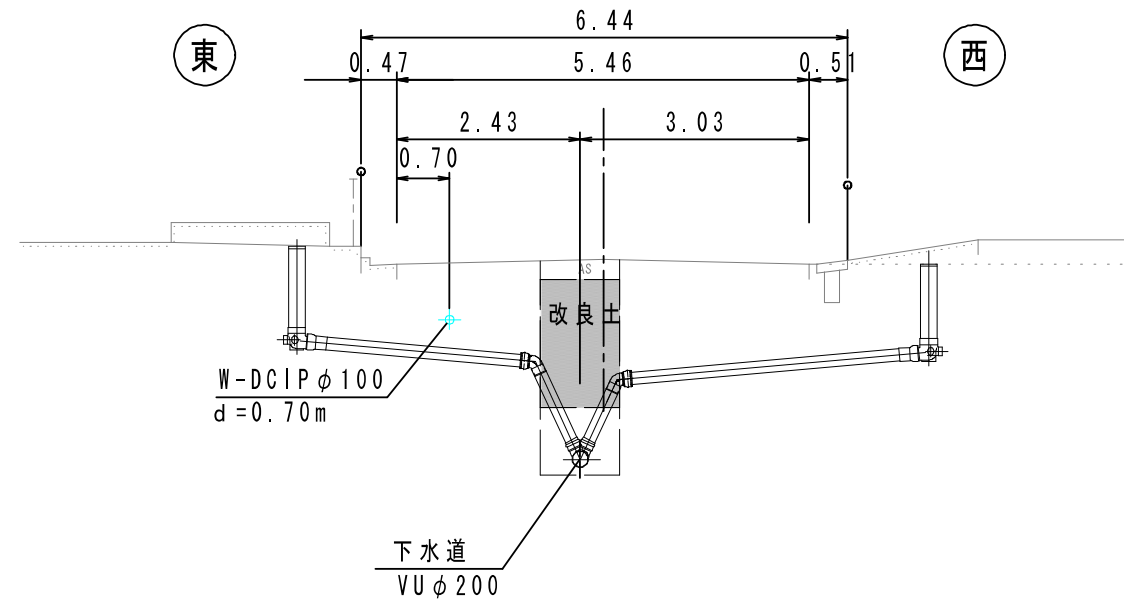
(1/100)

M.0~M.1



DL=0.00

M.2~M.3



DL=0.00

- ※他の地下埋設物及び距離も記載する。
- ※M2~M3は、改良土を使用した場合。
- ※白黒印刷で提出する。

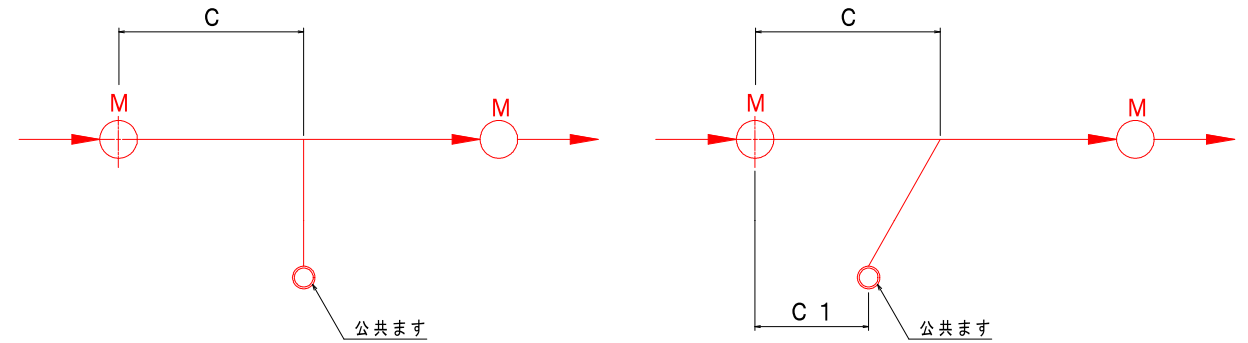
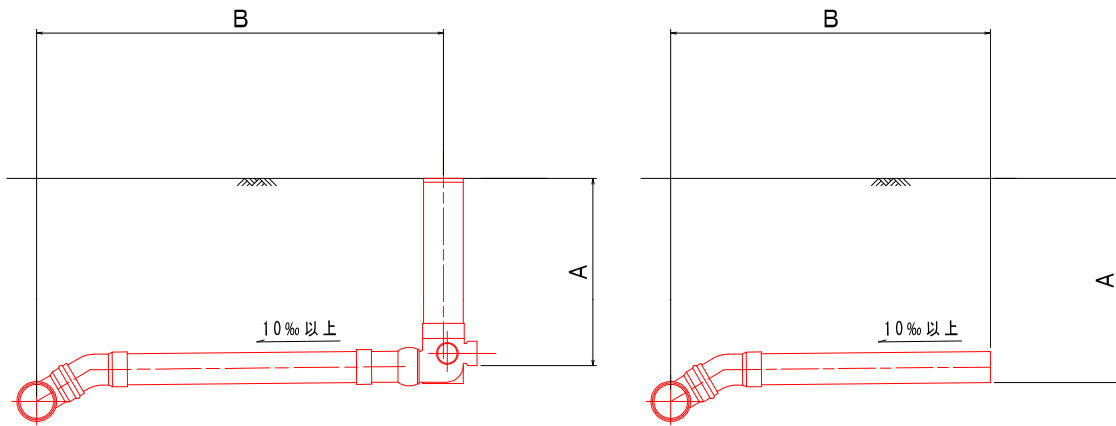






(様式下第7号)

# 公共ます及び取付管調書



路線名		〇〇号汚水準幹線						★ C1は、本管に対し取付管が直角方向でない場合のみ記入すること				
No.	本管径	取付管径	公共ます径	A	B	C	C1	土地所有者	家屋所有者	居住者	備考	
1	200	150	20	1.15	3.35	20.90		Aさん	△△ △△	×× ××		
2	200	150	20	0.96	2.71	18.40		Bさん	△△ △△	×× ××		
3	200	150	20	0.97	2.51	23.70		Cさん	△△ △△	×× ××		
4	200	150	20	1.18	3.17	9.03		Dさん	△△ △△	×× ××	鉄蓋(T-8)	
5	200	150	20	1.00	4.08	60.50		Eさん	△△ △△	×× ××	ドロップ柵	
6	200	150	20	1.35	3.56	44.70		Fさん	△△ △△	×× ××		
7	200	150	20	1.55	4.74	43.30		Gさん	△△ △△	×× ××		
8	200	150	20	1.30	3.60	42.10		Hさん	△△ △△	×× ××		
9	200	150		1.55	3.76	32.90		Iさん	△△ △△	×× ××	キャップ止	
10	200	150	20	1.20	4.42	18.80		Kさん	△△ △△	×× ××		



## 公共ますの深さ決定に関する資料(その1)

(宅内配管より決定されるます有効深) H1

工事名 〇〇号汚水準幹線外管渠工事

路線名 〇〇号汚水準幹線

整理番号	ます設置家屋名(又は土地所有者名)	宅内の最長配管延長 L(m)	算定 区分	ます設置地盤高 GL1(m)	最上流付近地盤高 GL2(m)	地盤高高低差 $\Delta H = GL2 - GL1$ (m)	算定式 h(cm)	ます計算深さ H1(m)宅内側	備 考
1	Aさん	44.0	2	5.36	5.40	0.04	$h = 2.0\% * L + 30\text{cm} - \Delta H\text{cm}$	1.14	
2	Bさん	24.0	1	5.23	5.32	0.09	最浅80cmとする。	0.80	
3	Cさん	28.0	2	5.30	5.33	0.03	$h = 2.0\% * L + 30\text{cm} - \Delta H\text{cm}$	0.83	
4	Dさん	60.0	3	5.30	5.52	0.22	$h = 1.0\% * L + 80\text{cm} - \Delta H\text{cm}$	1.18	
5	Eさん	37.0	2	5.71	5.73	0.02	$h = 2.0\% * L + 30\text{cm} - \Delta H\text{cm}$	1.02	
6	Fさん	51.0	3	5.27	5.57	0.30	$h = 1.0\% * L + 80\text{cm} - \Delta H\text{cm}$	1.31	
7	Gさん	51.0	3	5.63	5.61	-0.02	$h = 1.0\% * L + 80\text{cm} - \Delta H\text{cm}$	1.33	
8	Hさん	68.0	3	5.32	5.55	0.23	$h = 1.0\% * L + 80\text{cm} - \Delta H\text{cm}$	1.25	
9	Iさん	75.0	3	5.48	5.51	0.03	$h = 1.0\% * L + 80\text{cm} - \Delta H\text{cm}$	1.52	
10	Kさん	43.0	2	5.38	5.38		$h = 2.0\% * L + 30\text{cm} - \Delta H\text{cm}$	1.16	

### 汚水ますの深さ決定条件

L: 宅内配管の最長延長

$\Delta H\text{cm}$ : 最上流付近地盤高 - ます設置位置地盤高

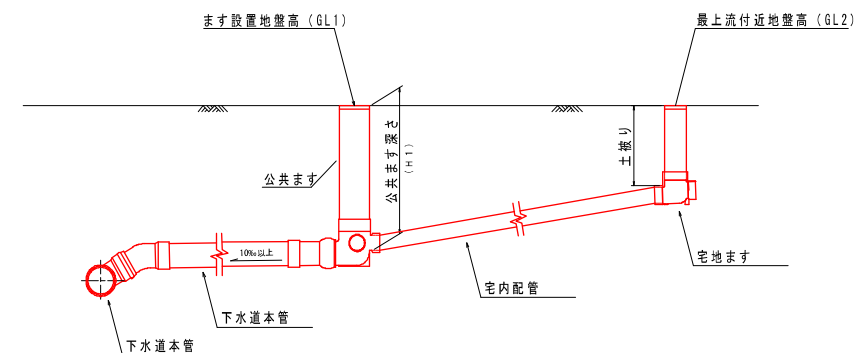
(1): 最浅80cmとする。

(2):  $h = 2.0\% * L + 30\text{cm} - \Delta H\text{cm}$  (L=25m~50mの場合)

(3):  $h = 1.0\% * L + 80\text{cm} - \Delta H\text{cm}$  (L=50m~120mの場合)

(4):  $h = 1.2\% * L + 50\text{cm} - \Delta H\text{cm}$  (L=120mの場合)

h: 比高



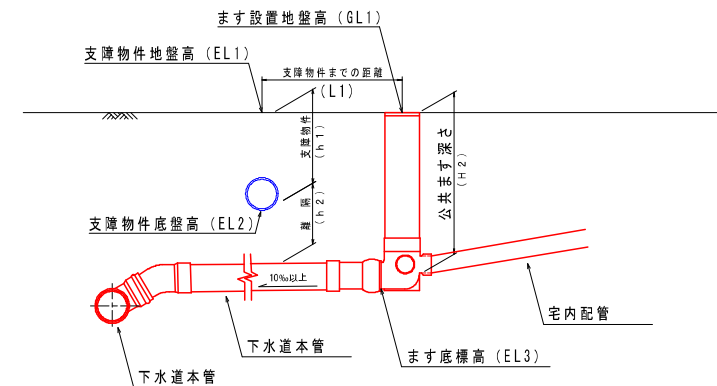
## 公共ますの深さ決定に関する資料(その2)

(支障物件により決定されるます有効深) H2

工事名 ○○号汚水準幹線外管渠工事

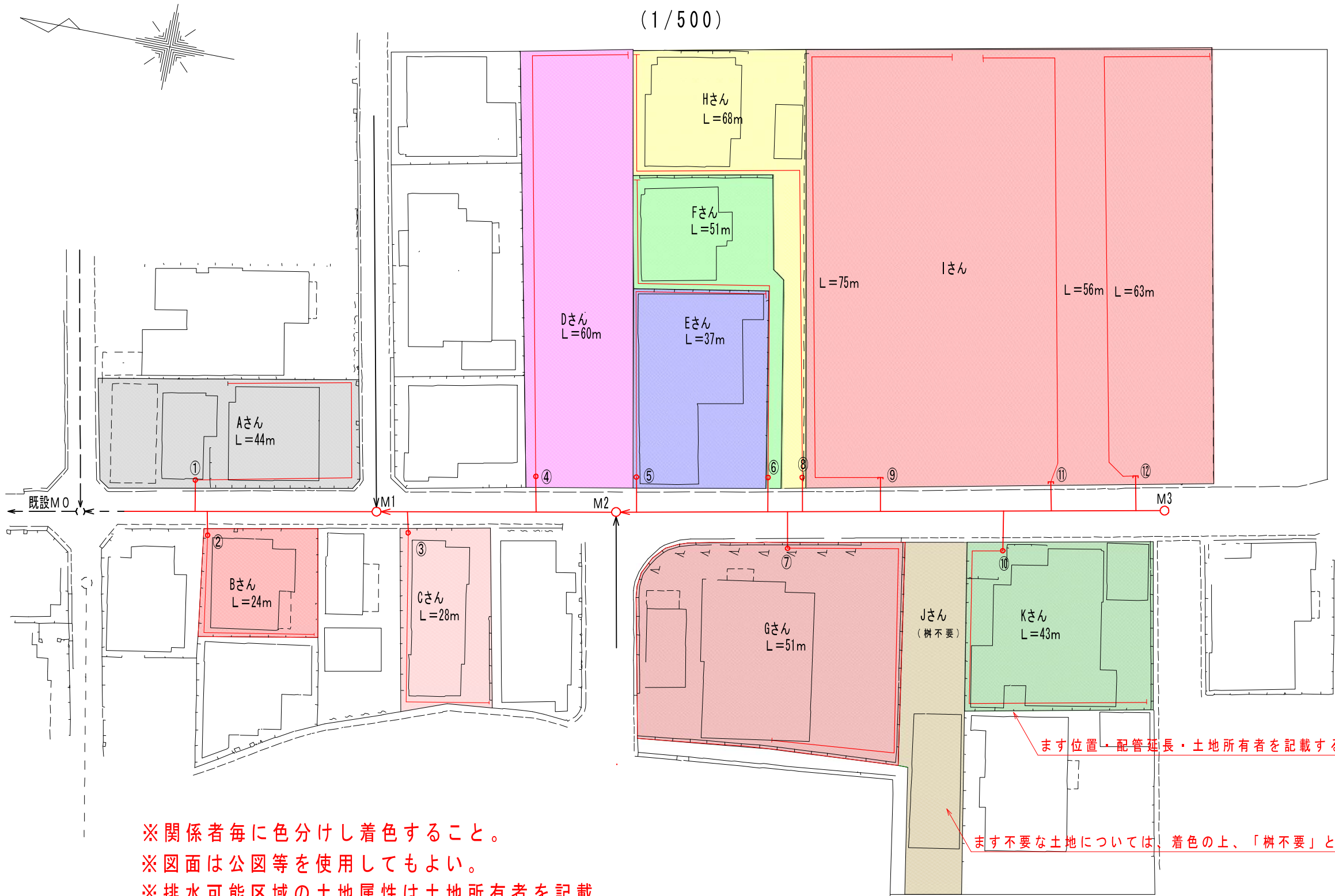
路線名 ○○号汚水準幹線

整理番号	ます設置家屋名(又は土地所有者名)	種別	ます設置地盤高	支障物件底盤高	支障物件地盤高	支障物深さ	支障物件までの距離	離隔	取付管外径	取付管勾配	ます底標高	ます計算深さ	ます計算深さ	必要ます決定深さ	幹線/取付管底(実施)	備考
			GL1 (m)	EL2 (m)	EL1 (m)	h1 (m)	L1 (m)				EL3 (m)流出側	H2 (m)宅内側	H1 (m)宅内側	H (m)宅内側	A (m)宅地側	
1	Aさん	水道新設	5.36	4.40	5.22	0.82	2.01	0.10	0.165	1.0	4.16	1.15	1.14	1.15	1.15	
2	Bさん	既設水路	5.23	4.70	5.10	0.40	0.60	0.30	0.165	1.0	4.24	0.94	0.80	0.94	0.96	
3	Cさん	既設水路	5.30	4.74	5.14	0.40	0.60	0.30	0.165	1.0	4.28	0.97	0.83	0.97	0.97	
4	Dさん	水道新設	5.30	4.54	5.36	0.82	2.01	0.10	0.165	1.0	4.30	0.95	1.18	1.18	1.18	鉄蓋(T-8)
5	Eさん	水道新設	5.71	4.44	5.26	0.82	2.01	0.10	0.165	1.0	4.20	1.46	1.02	1.46	1.00	ドロップ柵
6	Fさん	水道新設	5.27	4.46	5.28	0.82	2.01	0.10	0.165	1.0	4.22	1.00	1.31	1.31	1.35	
7	Gさん	擁壁	5.63	4.50	5.00	0.50	1.00	0.30	0.165	1.0	4.05	1.54	1.33	1.54	1.55	
8	Hさん	水道新設	5.32	4.47	5.29	0.82	2.01	0.10	0.165	1.0	4.23	1.04	1.25	1.25	1.30	
9	Iさん	水道新設	5.48	4.48	5.30	0.82	2.01	0.10	0.165	1.0	4.24	1.19	1.52	1.52	1.55	キャップ止
10	Kさん	既設水路	5.38	4.40	5.22	0.82	2.01	0.10	0.165	1.0	4.16	1.17	1.16	1.17	1.20	



# 排水可能区域図

(1/500)



※関係者毎に色分けし着色すること。  
※図面は公図等を使用してもよい。  
※排水可能区域の土地属性は土地所有者を記載。

ます位置・配管延長・土地所有者を記載する。

ます不要な土地については、着色の上、「樹不要」と記載。

### 公共下水道事業公共ます設置承諾書

出雲市上下水道事業管理者様  
 土地所有者 住所 ○○年 ○○月 ○○日  
 氏名 ○○市○○町○○番地  
 電話 ○○-○○○○○ (印)

出雲市公共下水道事業における公共ますの設置について、下記の所有地に設置されることについて異議なく承諾します。あわせて、下水道受益者負担金賦課の際に必要な土地情報等に関し、市が所有する情報を使用されることについて承諾します。  
 なお、公共ますの設置の期間は、設置を必要とする期間とし、それに係る土地使用料は無料とすることを承諾します。

記

- 1 土地の表示 出雲市 ○○ 町 ○○○ 番地
- 2 設置の数 ○ 箇

公共ますの設置関係者

家屋所有者 住所 ○○市○○町○○番地  
 氏名 ○○ ○○ (印)  
 電話 ○○-○○○○○

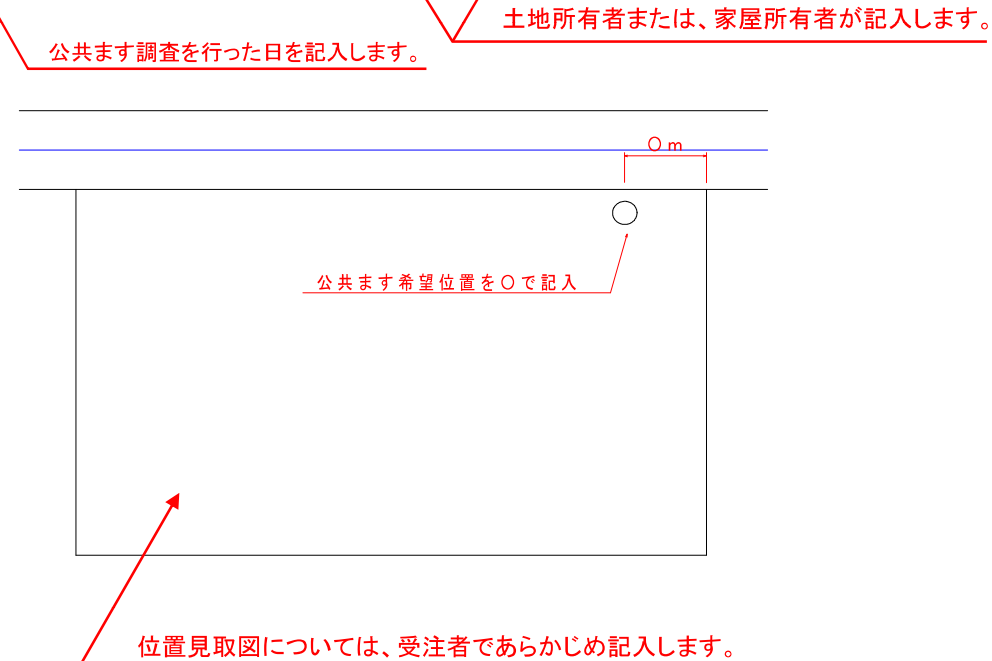
居住者 住所 ○○市○○町○○番地  
 氏名 ○○ ○○ (印)  
 電話 ○○-○○○○○

※青字部分については、関係者に記入・押印いただきます。  
 ※印鑑はシャチハタ印は不可です。  
 ※記入はボールペン等で行います。

### 公共ます設置位置調査表

路線名	該当路線名または、管路番号を記入します。	整理番号	
監督員	監督員氏名を記入します。	施工業者名	整理番号は、排水可能区域図等と照合します。
調査日	調査員氏名	立会者氏名	内容
・	調査員氏名を記入します。	○○ ○○	承諾しました。

位置見取図



メモ

※便所の種類 1 浄化槽 2 くみ取り

家屋等がある土地については、必ず記入します。